

平成27年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(環境省27—②⑥)

別紙1

施策名	5-6.東日本大震災への対応(自然環境の復旧・復興)					担当部局名		自然環境局国立公園課 自然環境整備担当参事官室		作成責任者名 (※記入は任意)		自然環境局国立公園課 自然環境整備担当参事官室			
施策の概要	地域の自然資源等を活用した三陸復興国立公園の拡張、被災した公園事業施設の復旧や復興のための整備に取り組む。					政策体系上の位置付け		5.生物多様性の保全と自然との共生の推進							
達成すべき目標	・三陸復興国立公園の創設を始めとした様々な取組を通じて、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域のくらしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興する。					目標設定の考え方・根拠		・東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部決定) ・三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン(平成24年5月7日 環境省) ・生物多様性国家戦略2012-2020(平成24年9月28日閣議決定) ・自然公園法			政策評価実施予定時期		平成28年6月		
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠			
		基準年度		目標年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
1 三陸復興国立公園の利用者数(千人)	9,749	21年	9,749	32年	— 2,791	— 2,250	— 集計中	— /	— /	— /	— /	三陸復興国立公園の創設を始めとする様々な取組は、国立公園の公園利用の推進のみならず、地域振興、利用者の安全対策、自然環境の保全・再生等を目標とするものである。 多様な自然的・社会的状況を包含する三陸エリア全体に係るものであり、成果を数値として測定出来ないが、関連するデータとして公園利用者数を指標とし、平成32年度には震災以前の国立公園利用者数の水準(9,749千人以上)とすることを目指す。			
2 八戸市におけるホテル宿泊者数(人)	—	—	前年度比5%増	—	488,330 487,466	511,839 512,130	537,736 498,789	523,728 /	— /	— /	— /	三陸復興国立公園の創設を始めとする様々な取組は、国立公園の公園利用の推進のみならず、地域振興、利用者の安全対策、自然環境の保全・再生等を目標とするものである。 多様な自然的・社会的状況を包含する三陸エリア全体に係るものであり、成果を数値として測定出来ないが、そのうち地域振興に資する成果実績の動向を示すものとして、三陸復興国立公園に編入され、みちのく潮風トレイルが開通した八戸市におけるホテル宿泊者数を参考指標とした。			
3 三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)の年間利用者数(千人)	2,975	17～21年	2,975	32年	— 1,773	— 1,711	— 調査中	2,975 /	2,975 /	2,975 /	2,975 /	被災した既存施設の復旧や観光地の再生に資する復興を図るため、三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)での震災前5年間の平均年間利用者数(2,975千人)を目標値として評価する。			
達成手段 (開始年度)	予算額計(執行額)			当初予算額	関連する指標	達成手段の概要等						平成27年 行政事業レビュー 事業番号			
	24年度	25年度	26年度	27年度											
三陸復興国立公園再編成(1)等推進事業 (平成23年度)	200百万円 (200百万円)	471百万円 (365百万円)	522百万円 (455百万円)	522百万円	1,2	<達成手段の概要> 自然公園の再編成による三陸復興国立公園の創設、長距離自然歩道(みちのく潮風トレイル)の路線設定、エコツアー等の公園利用プログラムの作成、自然環境変化状況の把握のための基礎調査等の具体的な取組を実施する。 <達成手段の目標> 三陸復興国立公園周辺の県立自然公園の編入について、地域の意向を把握しつつ、検討を行う。また平成28年度までにみちのく潮風トレイルの全路線を設定する。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 国立公園の再編成については、自然環境を活かして復興していく基盤として寄与する。みちのく潮風トレイルの設定については、公園利用者を増やし、地域観光の活性化に寄与する。						222 (復興庁)			
三陸復興国立公園等復興(2)事業 (平成24年度)	482百万円 (353百万円)	1,671百万円 (1,442百万円)	1,213百万円 (1,035百万円)	1,807百万円	3	<達成手段の概要> 安全・安心の観点から津波対策等の防災機能を強化しつつ、国立公園の集団施設地区、歩道等及び東北太平洋岸自然歩道の利用拠点等において、被災した既存利用施設の復旧整備や、観光地の再生に資する復興のための整備を行う。 <達成手段の目標> 三陸復興国立公園(平成25年度指定)における利用の回復・増進を図る。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 当該事業を通じて、国立公園事業施設の復旧・復興を図ることで、国立公園の利用の回復・増進に寄与する。						223 (復興庁)			
施策の予算額・執行額	682百万円 (553百万円)	2,142百万円 (1,807百万円)	1,735百万円 (1,490百万円)	2,329百万円	施策に関係する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)										